

インターネット コミュニケーション

STEP 1 ブログを用いた情報発信

インターネットを用いて情報発信をする際には、ウェブサイト構築するのが一般的です。しかしウェブサイト構築するにはさまざまに難しいことを知らなければなりません。そこでまずは手軽にウェブサイト構築できるツールであるブログを体験するところからはじめましょう。

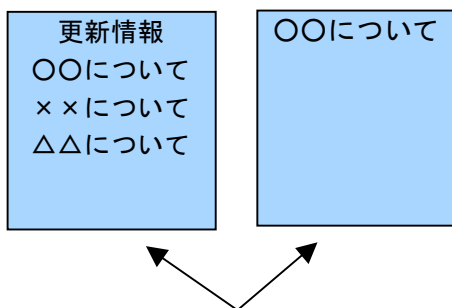
(1) ブログとは

ブログはウェブサイトの中でも更新頻度が頻繁なサイトを構築する際にとくによく用いられます。

更新した内容はトップページに記録されるため、定期的な訪問者はトップページの更新だけをチェックすればよく、かつ更新した内容は別ページに恒久的に保存されるため、後からその内容に対してリンクを貼ることも出来ます。

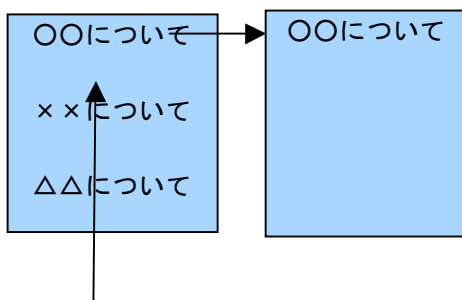
こうした特色を持っているため、もともとは日記形式でまとめた内容の評論などを書くのに用いられました。しかし今では更新のしやすさ、サイト管理の容易さなどから、商用の広告ページにも広く用いられるようになってきました。

通常のウェブサイト



記事を作成すると、その記事へのリンクをトップページにも張るなど、複数ページの更新作業が発生。

ブログサイト



記事を作成すれば、自動的にトップページと記事保存用ページが更新される。

その他、一般的なウェブサイトとブログの特徴をまとめておきましょう。

	ブログ	一般的なウェブサイト
記事作成	基本的には記事を書くだけ	HTML ファイルを作成
記事の公開	記事を保存した時点で公開される	作成した HTML ファイルをアップロード
デザイン	ある程度決まっている	自由
記事の並び	基本的に時系列順	自由
コミュニケーション	コメントを通じて掲載した記事について双方向のやり取りが可能	一般的に発信するのみ コメントなどを受け取るには別途掲示板などが必要

ブログを利用するためには、ブログシステムを動作させるサーバが必要です。近年、個人が無料で利用できるブログサーバサービスが数多く提供されており、誰でも気軽にブログを始められるようになっていきます。

ブログサービス

FC2 ブログ <http://blog.fc2.com/>
 Yahoo ブログ <http://blogs.yahoo.co.jp/>
 so-net ブログ <http://blog.so-net.ne.jp/>
 ココログ <http://www.cocolog-nifty.com/>
 goo ブログ <http://blog.goo.ne.jp/>
 JUGEM <http://jugem.jp/>

上記サービスはいずれも無料で使用できます。使い勝手や出来上がるサイトの見えなどにはおのこの違いがあります。自分でブログを開設したいときには、自分の好みに合ったサービスを探しましょう。

課題 1

ブログを用いた企業サイト、商用サイトを探してみましょう。

以下のサイトの中でブログを用いているのはどれですか。

STEP 1

(2) ブログ体験

それでは実際のブログシステムを用いて、ブログを書いてみましょう。

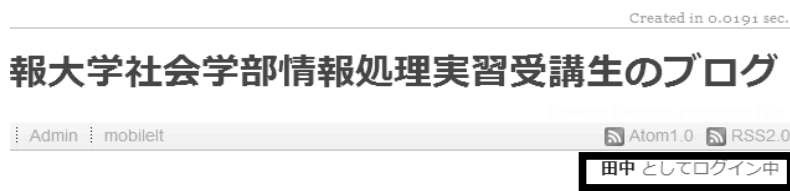


新規記事の投稿

記事を投稿するためにはまずはブログシステムにログインする必要があります。
「Admin」をクリックしてください。



ログイン画面が表示されますので、指定の ID とパスワードを入力します。



ログインされました。

いったんログインしたら、再度「Admin」をクリックして、管理画面に入ります。

管理画面

Logged in As 田中.

- ブログトップ
- 新規投稿
- 記事の管理
- カテゴリ管理 »
- IPコントロール
- アクセス解析
- ログアウト

- ✓ 記事のタイトルをクリックすると編集モードになります
- ✓ 記事のタイトル横のアイコンをクリックすると新しいウィンドウで記事を表示します
- ✓ 同様にカテゴリでのソートも出来ます
- ✓ コメント数をクリックするとコメント編集モードになります
- ✓ 同様にトラックバック詳細モードになります

1

トータルで1件のエントリー / 15 件ずつ表示

タイトル	書き手	カテゴリ	日時	コメント数	TB数	削除
検索	田中	その他	2007/04/02	0	0	削除

これまでに記事を投稿していれば、その記事の概要が表示されており、修正や削除ができます。

新しく記事を投稿したいときは「新規投稿」をクリックします。

Logged in As 田中.

- ブログトップ
- 新規投稿
- 記事の管理
- カテゴリ管理 »
- IPコントロール
- アクセス解析
- ログアウト

- ✓ タイトルは後からでも結構ですが、内容は必須です
- ✓ 画像や添付ファイルはいくらでも付けることが出来ます
- ✓ テキストエリア下のボックスでタグ(キーワード)をセットすることが出来ます。複数ある場合は全角・半角スペースで区切ります
- ✓ 動画へのリンクタグ挿入も可能です。代表的な動画サイトのプルダウンメニューを用意しています。動画リンクへのIDを入力すれば、独自の動画タグが補完されます (タグ作法) [(動画サイトタグ)、(リンクID)、(横幅)、(縦幅)]
- ✓ ある位置から下の文章を隠したいときは「続」ボタンを使います。
- ✓ 部分的に文章を隠したいときにも「続」ボタンを使います。マウスで隠したい範囲を選択して、ボタンを押せばその部分を隠すようにタグが挿入されます。

新しい記事の作成

Title:

Category: 業務連絡 Author: 田中

日付の修正 2007 年 04 月 03 日 01 時 44 分 07 秒

✂️ 🗨️ 🖼️ 📎 📄 📁 📂 📅 📆 📇 📈 📉 📊 📋 📌 📍 📎 📏 📐 📑 📒 📓 📔 📕 📖 📗 📘 📙 📚 📛 📜 📝 📞 📟 📠 📡 📢 📣 📤 📥 📦 📧 📨 📩 📪 📫 📬 📭 📮 📯 📰 📱 📲 📳 📴 📵 📶 📷 📸 📹 📺 📻 📼 📽 📾 📿 📻 📼 📽 📾 📿 📻 📼 📽 📾 📿

続 <> ⏪ ⏩ ⏴ ⏵ ⏶ ⏷ ⏸ ⏹ ⏺ ⏻ ⏼ ⏽ ⏾ ⏿ ⏰ ⏱ ⏲ ⏳ ⏴ ⏵ ⏶ ⏷ ⏸ ⏹ ⏺ ⏻ ⏼ ⏽ ⏾ ⏿ ⏰ ⏱ ⏲ ⏳

文の整形 下から選択 文字サイズ 選択 動画リンク貼り付け 動画サイト選択

コメント許可 トラックバック許可

📄 📄 Page 1

Title (記事名)、Category (記事の内容上の分類項目)、本文を入力して「公開」ボタンをクリックすると、記事が公開されます。

STEP 1

コメント投稿

ブログの記事にはコメントを投稿することができます。
ブログに記事を投稿できるのはあらかじめ登録されたユーザだけです。一方、コメントは設定によりますが、誰でも投稿できるように設定することも可能です。

第一回授業の感想

2007/4/13

カテゴリー » 授業

今日の授業はExcelの関数の総復習でした。
SUM関数、AVERAGE関数は覚えていましたが、COUNT関数とCOUNTA関数の違いなどはすっかり忘れてしていました。
また絶対参照についてもずいぶんと忘れていて、練習問題などうまくできませんでした。反省。
クラスのみんかも結構難しいと感じていたようです。がんばって復習して、何とか乗り切ろう!

— posted by 田中 at 04:49 pm [Comment \[0\]](#) [TrackBack \[0\]](#)

各記事の下の「Comment」をクリックすると、コメント投稿欄が表示されます。

✓ コメントをどうぞ。名前(ペンネーム)は必須で、ウェブサイトURLはオプションです。

名前 (N):

文字色 (C):

ウェブサイト (U):

タグは使えません。http://... は自動的にリンク表示となります



メールアドレスを入力しておくとも 藤本 がレスをした際に通知します (M):

チェックしておくとも、コメントは記事の投稿者・管理者のみに表示されます (H)

Cookie(K):

[印刷](#)

名前とコメントを入力して「コメント送信」をクリックすると、コメントが記事に反映されます。

第一回授業の感想

2007/4/13

カテゴリー » 授業

今日の授業はExcelの関数の総復習でした。
SUM関数、AVERAGE関数は覚えていましたが、COUNT関数とCOUNTA関数の違いなどはすっかり忘れてしまいました。
また絶対参照についてもずいぶん忘れていて、練習問題などうまくできませんでした。反省。
クラスのみんなも結構難しいと感じていたようです。がんばって復習して、何とか乗り切ろう!

— posted by 田中 at 04:49 pm [Comment \[1\]](#) [TrackBack \[0\]](#)



この記事に対するコメント・トラックバック [1件]

藤本 April 3, 2007 @02:01:32

お、田中さん、早速の更新ありがとう。
これからもこの調子で、がんばって更新していきましょう！

このようにコメントを通じて、自身が発信した情報について、閲覧者とコミュニケーションすることが出来るのがブログの大きな特徴です。
ブログは一般的なウェブサイトと同様に情報発信ツールであると同時に、メールや掲示板のようにコミュニケーションツールでもあるのです。

課題 2

ブログに記事を投稿してみましょう。
またほかの人のブログを閲覧し、コメントを投稿してください。

課題 3

掲示板でも情報を発信したり、それに対してコメントをつけたりすることができました。掲示板とブログとでは何が違うのでしょうか。以下の観点でまとめて見ましょう。

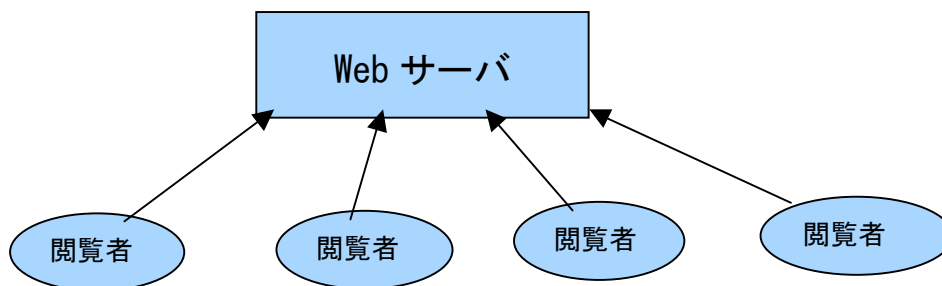
- ・サイトにおいて情報発信を行う主体は誰か
- ・元記事とそれに対するコメントとの区分

STEP2 Web サイトの仕組み

ブログもウェブサイトの一種です。ここでは Web サイト一般の仕組みについても少し掘り下げてみましょう。Web サイトの仕組みを知ること、インターネットを用いた情報発信の特徴についての理解も深まります。

(1) Web サイトの仕組み

Web サイトはインターネット上の Web サーバ上にコンテンツがおかれ、そこに閲覧者がおのおののパソコンなどでアクセスをすることで、内容を閲覧することができます。



閲覧者はそれぞれ独自の環境でアクセスします。場合によってはパソコンではなく、携帯電話でアクセスすることもあるでしょう。さまざまな環境でアクセスされても、Web サイトはなるべく共通の情報を発信できることが求められます。Windows パソコンに特定のワープロソフトがインストールされている環境でしか見られないサイト、というのは好ましくありません。

そこで Web ページを構成するファイルには共通のフォーマットが用いられることとなります。この Web ページを記述するための共通の言語が HTML (Hyper Text Markup Language) です。

ウェブサイトはこの HTML ファイルを中心に、画像やその他のファイルから構成されています。

(2) HTML

HTML は特定の環境に依存せずに内容を閲覧、編集できるテキストファイルで記述されています。テキストファイルは Windows の「メモ帳」で内容を見て、編集することができます。

それでは HTML ファイルの中身はどうなっているのでしょうか。

ブログもウェブサイトのひとつでしたね。ブログもまた HTML ファイルで書かれているのです。

それでは Step1 で扱ったブログサイトが HTML でどうかかれているのか、確認してみましょう。

Internet Explorer だと<表示>-<ソース>で今表示されている Web ページのソース (HTML の中身) を見ることができます(ただし「文字コード」の関係で、文字化けする場合があります)。

```
<?xml version="1.0" encoding="euc-jp"?>
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Strict//EN"
    "http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-strict.dtd">
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xml:lang="ja" lang="ja">
<head>
<title>情報大学社会学部情報処理実習受講者ブログ</title>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=euc-jp" />
<meta name="generator" content="ppBlog 1.6.0" />
<meta http-equiv="content-style-type" content="text/css" />
<meta http-equiv="content-script-type" content="text/javascript" />
<meta http-equiv="imagetoolbar" content="no" />
<link rel="icon" href="Images/favicon.png" type="image/png" />
<link rel="stylesheet" id="ppBlogCSS" href="theme/basic/basic.css" type="text/css" />

<link rel="alternate" type="application/rss+xml" title="RSS2.0" href="./feeds/rss2.0.xml" />
<link rel="alternate" type="application/atom+xml" title="Atom feed" href="./feeds/atom1.0.xml" />
<script type="text/javascript" id="basic" src="js/lib.js" charset="euc-jp"></script>
</head>
<body id="weblog">

<div id="header">
<h1>
情報大学社会学部情報処理実習受講者のブログ
</h1>
<span>Powerful Personal-publishing Tool</span>
</div><!--#header-->
```

これが HTML ファイルのソースです。

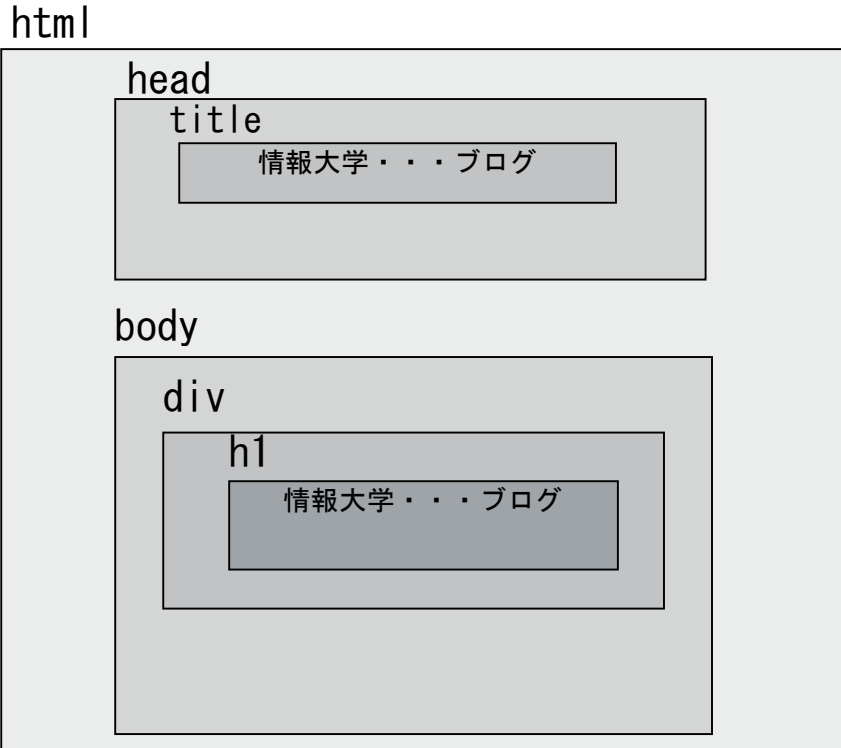
このブログはかなり複雑な内容のため、HTML もやや煩雑になっていますが、基本となるところは案外シンプルです。

```
<html . . . . . >
  <head>
    <title>情報大学情報処理実習受講者ブログ</title>
    <meta . . . . . />
    . . . . .
  </head>
  <body . . . . . >
    <div . . . . . >
      <h1>
        情報大学情報処理実習受講者ブログ
      </h1>
      . . . . .
    </div>
    . . . . .
  </body>
</html>
```

STEP 1

< >で囲まれたものを「タグ」といいます。HTML は文字をタグで囲んで、様々な表現を行います。<タグ>で開いたタグは</タグ>で終了します(<タグ />は開いてすぐに閉じている)。

上の複雑なファイルも、よく見ると下図のような入れ子構造になっています。



★主要なタグ

html で用いられる代表的なタグです。

html	html の開始と終了を示す。
head	html ファイルのヘッダ (さまざまな付加情報) を構成する。
body	html ファイルの本体部分 (コンテンツ) を構成する。
div	大きな意味のまとまりを構成する。
h1	見出しレベル 1 を構成する。
h2	見出しレベル 2 を構成する。
p	段落を構成する。
br	改行する (段落は構成しない)。

課題 4

好きな Web サイトの一ページを閲覧し、そのページのソースを表示してみましよう。〈html・・・〉と〈/html〉の組は発見できますか。ほかのタグの組は見つかりますか。

(2) Web ページを作成してみよう

html をもちいて簡単な Web ページを作成してみましよう。
メモ帳を用いて以下のように入力します。

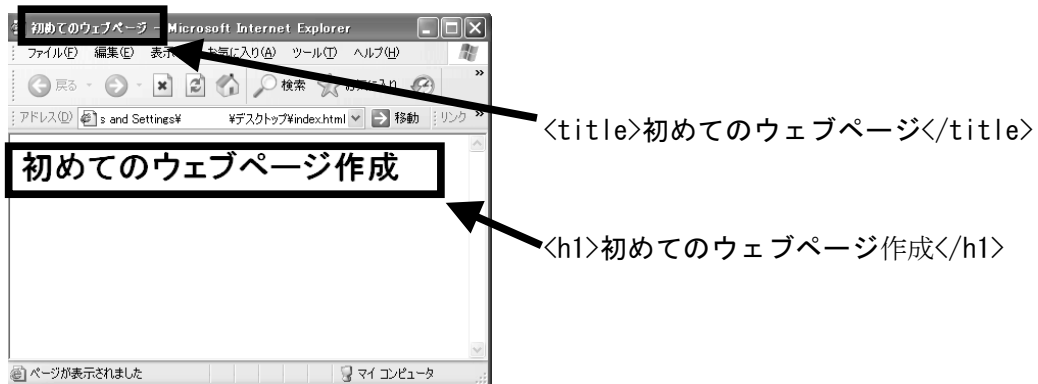
```
<html>
<head>
<title>初めてのウェブページ</title>
</head>
<body>
<h1>初めてのウェブページ作成</h1>
</body>
</html>
```

※タグはすべて直接入力で入力する

ファイル名を「index.html」として保存する。



このファイルをダブルクリックするとブラウザ（Internet Explorer）で開きます。



メモ帳で記述した内容とブラウザで表示される画面との対応関係を確認してください。

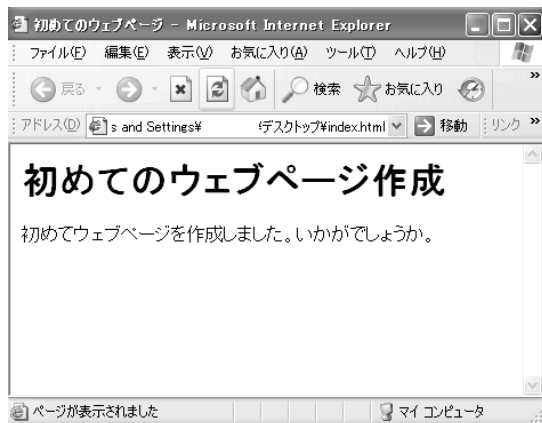
STEP 1

もう少し内容を増やしてみましょう。

index.html をメモ帳で開きます（メモ帳を起動し、〈ファイル〉－〈開く〉から index.html を選択する）。

```
<html>
<head>
<title>初めてのウェブページ</title>
</head>
<body>
<h1>初めてのウェブページ作成</h1>
<p>初めてウェブページを作成しました。
いかがでしょうか。</p>
</body>
</html>
```

このファイルを「上書き保存」をして、再度ブラウザで開いてみましょう。



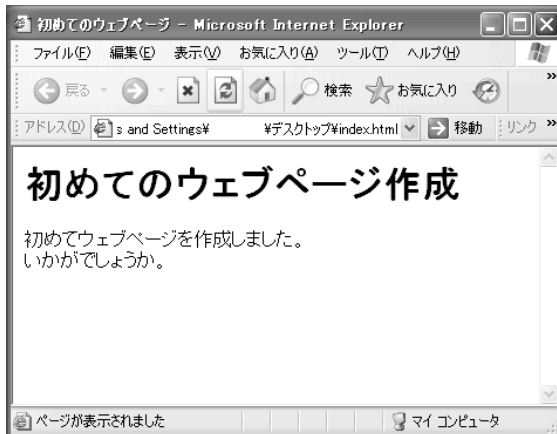
メモ帳で改行したところがブラウザでは改行されていません。

ブラウザ上で改行して表示されるようにするには html ファイルに改行するための **タグ** を書かなければならないのです。

改行したい箇所に「
」を入力します。

```
<html>
<head>
<title>初めてのウェブページ</title>
</head>
<body>
<h1>初めてのウェブページ：目次</h1>
<p>初めてウェブページを作成しました。 <br />
いかがでしょうか。</p>
</body>
</html>
```

再び上書き保存して、ブラウザで開いてみましょう。

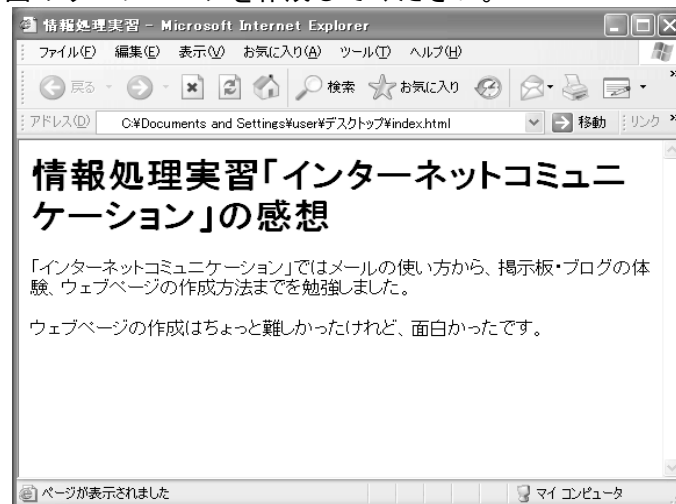


改行されました。

html のタグがブラウザ上での表示を制御していることがわかりいただけましたでしょうか。

課題 5

図のウェブページを作成してください。



※折り返しと改行は違います。

※このページでは「段落」を二つ作っています。
は使用していません。